

総合部会における検討テーマ(案)及び  
所掌箇所について



# 総合部会における検討テーマ等について（案）

所掌事務：基本方針、経済社会、財政、土地利用、米軍基地、駐留軍用地跡地利用、県民生活等

開催回数：全5回を予定（7月中旬～11月中旬）

回数	開催予定	検討テーマ(案)	所掌事務	検討項目
第1回	7月20日 (火)	1 部会運営の説明	-	-
		2 新たな振興計画(素案)の概要説明	-	-
		3 専門委員会の立ち上げ	-	-
		4 【個別テーマ】 第1章 総説 第2章 基本的課題 第3章 基本方向(展望値除く) 第4章 基本施策 2-(5) 多様性を尊重する共助・共創 社会の実現	基本方針     県民生活	計画の意義、性格、期間、目標等 時代潮流、地域特性、基本的課題 基本的指針、3つの枠組み、施策展開の基本方向  ジェンダー平等と性の多様性の尊重 地域コミュニティの活動支援
第2回	8月10日 (火)	1 第1回部会質疑への回答	-	-
		2 【個別テーマ】 第4章 基本施策 2-(8) あらゆるリスクに対応する安全・ 安心な島づくり 4-(1) アジア・太平洋地域の平和構築に貢献 する地域協力外交の展開 4-(3) 世界の島しょ地域等との国際協力活動と 国際的課題への貢献 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 1 県土全体の基本方向 3 圏域別展開	県民生活  その他  その他  基本方針・ 土地利用 基本方針	安全・安心に暮らせる地域づくり  アジア・太平洋地域の平和拠点の形成 沖縄戦の実相・教訓の次世代継承  多様な分野における国際協力・貢献活動の推進  県土づくり、臨空・臨港都市と新たな拠点の形 成、広大な海域の保全・活用 北部圏域、中部圏域、南部圏域、宮古圏域、八重 山圏域
		1 第2回部会質疑への回答	-	-
		2 【個別テーマ】 第4章 基本施策 2-(9) 米軍基地から派生する諸問題及び 戦後処理問題の解決 第5章 克服すべき沖縄の固有課題 1-(1) 基地問題の解決 1-(2) 駐留軍用地跡地の有効利用による 県土構造の再編 2-(2) 跡地利用推進法の活用による円滑な 跡地利用の推進 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 2 県土の広域的な方向性	米軍基地  米軍基地  駐留軍用地 跡地利用  基本方針・ 土地利用・ 跡地利用	米軍基地から派生する諸問題の解決 残された戦後処理問題の解決  解決の意義、方向性  解決の意義、方向性、駐留軍用地跡地の有効利用 跡地利用推進法の要望内容  中南部都市圏の形成、東海岸サンライズベルト構 想の展開、駐留軍用地跡地利用による持続可能な 県土づくり
第4回	9月7日 (火)	1 第3回部会質疑への回答	-	-
		2 【個別テーマ】 第3章 基本方向 計画の展望値 第5章 克服すべき沖縄の固有課題 2 固有課題克服のための行財政システム の強化・拡充及び政策金融の活用 第7章 計画の効果的な推進	社会経済  基本方針・ 財政 基本方針	計画展望値の検討状況  沖縄振興特別措置法の活用、地域に根ざした政策 金融の活用、安定的な自主財源等の確保 実施計画の策定、計画の進捗管理と見直し
		3 総合部会 中間取りまとめ(案)	-	-
		1 総括質疑	-	-
第5回	11月10日 (水)	2 総合部会 意見書(案) のとりまとめ	-	-

## 新たな振興計画（素案） 総合部会の所掌箇所一覧（所掌事務別）

所掌事務：①基本方針、②経済社会、③財政、④土地利用、⑤米軍基地問題、⑥跡地利用、⑦県民生活等

No.	所掌事務	章立て	主な項目、基本施策	具体的内容、施策展開等	備考
①	基本方針	第1章 総説	計画策定の意義、計画の性格、期間、目標		P.1
		第2章 基本的課題	時代潮流、地域特性、基本的課題		P.6
		第3章 基本方向	基本的指針、3つの枠組み、施策展開の基本方向		P.23
		第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開	県土のグランドデザインの総論、圏域別展開		P.198
		第7章 計画の効果的な推進	沖繩振興特別措置法と本計画の関係、計画の効果的な推進		P.238
		第3章 基本方向	計画の展望値	社会、経済、環境に係る展望値	P.27
③	財政	第5章 克服すべき沖繩の固有課題	2-(1) 沖繩振興特別措置法の活用 2-(3) 地域に根ざした政策金融の活用 2-(4) 安定的な自主財源等の確保		P.185 P.186 P.187
		第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開	1-(1) 県土の均衡ある発展と持続可能な県土づくり 1-(2) 我が国の玄関口における臨空・臨港都市と新たな拠点の形成 1-(3) 広大な海域の保全・活用 2-(1) 県土全体の持続可能な発展を牽引する中南部都市圏の形成 2-(2) 県土の均衡ある発展を支える「東海岸サンライズベルト構想」の展開		P.188 P.189 P.190 P.192 P.193
		第4章 基本施策	2-(9) 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決	ア 米軍基地から派生する諸問題の解決に向けた対応 イ 残された戦後処理問題の解決	P.82 P.83
		第5章 克服すべき沖繩の固有課題	1-(1) 基地問題の解決	解決の意義、解決の方向性	P.176
⑥	跡地利用	第5章 克服すべき沖繩の固有課題	1-(2) 駐留軍用地跡地の有効利用による県土構造の再編 2-(2) 跡地利用推進法の活用による円滑な跡地利用の推進	解決の意義、解決の方向性、跡地の有効利用	P.178 P.186
		第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開	2-(6) 駐留軍用地跡地利用による県土構造の再編と持続可能な県土づくり		P.197
		第4章 基本施策	2-(5) 多様性を尊重する共助・共創社会の実現	ア ジェンダー平等の実現と性の多様性の尊重 イ 地域コミュニティの活動支援 ウ 安全・安心に暮らせる地域づくり	P.68 P.68 P.79
⑧	その他	第4章 基本施策	4-(1) アジア・太平洋地域の平和構築に貢献する地域協力外交の展開 4-(3) 世界の島しょ地域等との国際協力活動と国際的課題への貢献	ア アジア・太平洋地域の平和拠点の形成 イ 沖繩戦の実相・教訓の次世代継承 ア 多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	P.149 P.150 P.154

## 新たな振興計画（素案） 総合部会所掌箇所一覧（構成順）

頁	行	素案の本文	総合	部会での審議回
1	1	<b>第1章 総説</b>		
1	3	<b>1 計画策定の意義</b>	●	第1回
1	24	(1) 沖縄振興策の推進	○	第1回
2	14	(2) 日本経済発展への貢献 –我が国とアジア諸国・地域を結ぶ拠点–	○	第1回
3	24	(3) 海洋島しょ圏の特性を生かした海洋立国への貢献 –海洋政策の拠点–	○	第1回
4	26	<b>2 計画の性格</b>	●	第1回
5	5	<b>3 計画の期間</b>	●	第1回
5	11	<b>4 計画の目標</b>	●	第1回
6	1	<b>第2章 基本的課題</b>		
6	3	<b>1 本県を取り巻く時代潮流</b>	●	第1回
6	4	<b>(1) 世界の動向</b>	●	第1回
6	5	① 新型コロナウイルス感染症の拡大	○	第1回
6	19	② SDGsの展開	○	第1回
7	12	③ 格差の進行	○	第1回
7	24	④ デジタル化と情報通信技術（ICT）の進化	○	第1回
8	14	⑤ アジア経済の動向	○	第1回
8	28	<b>(2) 我が国の動向</b>	●	第1回
8	29	① 人口減少・超高齢社会への本格突入	○	第1回
9	7	② 2050年脱炭素社会への挑戦	○	第1回
9	17	③ 社会リスクの高まり	○	第1回
9	29	<b>2 地域特性</b>	●	第1回
10	2	(1) 歴史的・文化的特性	○	第1回
10	29	(2) 社会的特性	○	第1回
11	11	(3) 地理的特性	○	第1回
11	23	(4) 亜熱帯・海洋性の自然的特性	○	第1回
12	4	<b>3 基本的課題</b>	●	第1回
12	5	<b>(1) 沖縄経済の重要課題</b>	●	第1回
12	11	ア 技術進歩の課題	○	第1回
13	1	イ 経済パフォーマンスの課題	○	第1回
13	16	<b>(2) 沖縄における新型コロナウイルス感染症拡大によって明確化した課題</b>	●	第1回
13	17	ア 新たな社会・経済の再構築	○	第1回
14	6	イ 新型コロナウイルス感染症拡大によって顕在化した課題	○	第1回
15	4	ウ ウィズ/アフター・コロナの新しい生活様式に求められる新たな視点	○	第1回
15	19	<b>(3) 沖縄におけるSDGs推進の優先課題</b>	●	第1回
17	2	<b>(4) 将来像実現に向けた課題と道筋</b>	●	第1回

頁	行	素案の本文	総 合	部会での 審議回
17	9	(沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島を目指して)	○	第1回
18	11	(心豊かで安全・安心に暮らせる島を目指して)	○	第1回
19	8	(希望と活力にあふれる豊かな島を目指して)	○	第1回
21	13	(世界に開かれた交流と共生の島を目指して)	○	第1回
22	2	(多様な能力を発揮し、未来を拓く島を目指して)	○	第1回
23	1	<b>第3章 基本方向</b>		
23	3	<b>1 施策展開の基本的指針</b>	●	第1回
23	33	<b>2 施策展開の3つの枠組み</b>	●	第1回
25	1	<b>3 施策展開の基本方向</b>	●	第1回
25	9	(1) 平和で生き生きと暮らせる「誰一人取り残すことのない優しい社会」の実現	○	第1回
25	27	(2) 世界とつながり、時代を切り拓く「強くしなやかな自立型経済」の構築	○	第1回
26	27	(3) 人々を惹きつけ、ソフトパワーを具現化する「持続可能な海洋島しょ圏」の形成	○	第1回
27	16	<b>4 計画の展望値</b>	●	第4回
27	24	(1) 社会に係る展望値	○	第4回
27	32	(2) 経済に係る展望値	○	第4回
28	16	(3) 環境に係る展望値	○	第4回
29	1	<b>第4章 基本施策</b>		
29	8	<b>1 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島を目指して</b>		
29	11	<b>(1) 世界に誇れる島しょ型環境モデル地域の形成</b>		
29	31	ア 脱炭素島しょ社会の実現に向けたエネルギー施策の推進		
30	11	① 再生可能エネルギー等のクリーンなエネルギーの導入促進		
30	25	② 沖縄に適したエネルギー供給・消費の効率化		
31	5	③ 低炭素化及び省エネルギー化の促進		
31	23	イ 社会生活における資源循環の推進		
31	29	① 廃棄物3Rの推進		
32	12	② 効率的な廃棄物処理体制の推進		
32	25	③ 食品ロス削減の推進		
32	32	④ 脱プラスチック社会の推進		
33	10	ウ 人と環境に優しいまちづくりの推進		
33	28	① 次世代型交通環境の形成		
34	10	② 公共交通システムの戦略的再編		
34	24	③ 花と緑にあふれる環境づくり		
35	5	④ 歩いて暮らせる環境づくり		
35	15	⑤ 公共施設等におけるユニバーサルデザインの推進		
35	25	<b>(2) 自然環境の保全・再生・継承及び持続可能な利用</b>		
36	2	ア 自然環境・生物多様性の保全・継承		
36	7	① 世界自然遺産や自然公園の適正管理		

頁	行	素案の本文	総合	部会での審議回
36	17	② 希少野生動植物種や沖縄固有種の保護対策、外来生物対策の推進		
36	26	③ アジアの自然史科学の拠点「国立沖縄自然史博物館」の設置促進		
37	2	イ 水域・陸域・大気・土壌環境の保全・再生		
37	6	① 水質汚濁対策		
37	16	② 土壌汚染対策		
37	22	③ 大気環境保全		
37	28	④ 自然環境再生の推進		
38	2	⑤ 環境影響評価制度の推進		
38	10	ウ 多様な主体による環境保全等に向けた活動の推進		
38	16	① 環境保全等に対する県民参画の推進		
38	27	② 環境保全の意欲の醸成		
39	3	<b>(3) 持続可能な海洋共生社会の構築</b>		
39	27	ア 海洋島しょ圏としてのSDGsへの貢献		
39	33	① 海洋保護区と総合的な沿岸管理の推進		
40	9	② 海洋ごみ問題への対応		
40	19	③ サンゴ礁、藻場、干潟等の保全と再生		
40	33	④ 赤土等流出防止に向けた総合対策		
41	16	イ 海洋環境の利活用によるブルーエコノミーの展開	●	第2回
41	27	① 海洋環境を活用した再生可能エネルギーの導入促進		
41	33	② 海洋調査・開発の支援拠点形成に向けた取組の推進		
42	8	③ 「海洋政策センター（仮称）」の設置促進	○	第2回
42	23	<b>(4) 沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展</b>		
43	10	ア 沖縄文化の継承・発展・普及		
43	14	① 各地域におけるしまくとぅばの保存・普及・継承の促進		
43	26	② 伝統芸能の継承・発展		
43	33	③ 伝統文化の保存・継承・発展		
44	9	④ 文化財の保存・活用		
44	18	⑤ 歴史資料の保存・編集・活用		
44	30	イ 文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり		
45	1	① 創造的文化芸術の発展を担う人材の育成		
45	11	② 県民等の文化芸術活動の充実		
45	20	③ 文化資源を活用した地域づくり		
45	29	④ 文化芸術活動を支える基盤の強化		
46	2	ウ 沖縄空手の保存・継承・発展		
46	7	① 沖縄空手の指導者及び後継者の育成		
46	18	② 沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信		
46	32	③ 沖縄空手世界大会の定期開催等を通じた国際交流		
47	9	④ ユネスコ無形文化遺産の登録に向けた取組の推進		

頁	行	素案の本文	総合	部会での審議回
47	17	工 伝統工芸の振興		
47	23	① 伝統的な技術・技法の継承		
47	31	② 伝統工芸を活用した感性に働きかける魅力的なものづくりの振興		
48	9	<b>(5) 悠久の歴史や伝統文化に育まれた魅力ある空間と風土の形成</b>		
49	2	ア 首里城の復興		
49	23	① 正殿等の早期復元と復元過程の公開		
50	2	② 首里城公園の更なる魅力の向上と施設管理体制の強化		
50	26	③ 首里城に関係する文化財等の保全・復元・収集		
51	1	④ 首里城に関連する伝統技術の活用と継承		
51	10	⑤ 首里城を中心とした琉球文化のルネサンス		
51	22	イ 沖縄の歴史と景観に配慮した千年悠久のまちづくり		
51	26	① 沖縄固有の景観・風景・風土を重視した魅力的な景観形成		
52	2	② 歴史的景観を活用したまちづくりの促進		
52	7	③ 沖縄固有の景観資源の保全・継承		
52	16	④ 琉球王国のグスク及び関連遺産群の環境整備		
52	21	<b>2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して</b>	●	第1回・2回
52	24	<b>(1) 子どもの貧困の解消に向けた総合的な支援の推進</b>		
53	27	ア 子どものライフステージに応じたつながる仕組みの構築及び県民運動の展開		
54	5	① つながる仕組みの構築		
54	20	② 県民運動の推進及び子どもの貧困問題に関する普及啓発		
54	31	イ 貧困状態にある子どもへの支援		
55	7	① 生活支援の充実		
55	16	② 経済的な支援の充実		
55	24	ウ ひとり親家庭等の困難を抱える保護者への支援		
56	1	① ひとり親家庭等の困難を抱える保護者への生活自立支援		
56	13	<b>(2) 誰もが安心して子育てができる環境づくり</b>		
56	22	ア 子ども・子育て支援の充実		
56	27	① 妊産婦を支える体制づくり		
57	2	② 乳幼児の健康の保持・増進		
57	13	③ 乳幼児期の子育て環境の充実		
57	23	イ 子ども・若者の育成支援		
57	28	① 子どもの多様な居場所づくり		
58	7	② 困難を有する子ども・若者やその家族等への支援		
58	16	③ 要保護児童や児童虐待に対する取組の強化		
58	29	<b>(3) 健やかな暮らしと安心を支える充実した医療提供体制の確保</b>		
59	7	ア 健康・長寿おきなわの復活		
59	11	① 県民一人ひとりの健康づくり活動の定着		
59	19	② 生活習慣病等の予防に向けた健康的な生活の定着		
59	30	イ 質の高い医療提供体制の充実・高度化		

頁	行	素案の本文	総合	部会での審議回
60	2	① 地域医療連携体制の構築		
60	13	② 患者・家族等の支援体制の充実		
60	19	③ 小児医療提供体制の充実		
60	27	④ 周産期医療提供体制の充実		
60	33	⑤ 公立沖縄北部医療センターの整備推進		
61	4	ウ 離島・へき地医療、救急医療提供体制の確保・充実		
61	10	① 離島・へき地医療提供体制の確保・充実		
61	21	② 救急医療提供体制の確保・充実		
61	27	③ 災害医療提供体制の確保・充実		
61	32	エ 感染症に備えた保健衛生、医療提供体制の拡充・強化		
62	4	① 感染症対策の強化		
62	13	② 新興・再興感染症拡大期に備えた医療提供体制の確保		
62	28	オ 保健衛生環境の向上		
62	32	① 食品等の安全・安心の確保		
63	5	② 難病対策の推進		
63	11	③ 自殺対策の強化		
63	19	④ 薬物乱用防止対策の強化		
63	27	⑤ 危険生物対策の推進		
64	1	⑥ 狂犬病対策及び動物の愛護・管理の推進		
64	9	<b>(4) 高齢者・障害者等を支える福祉サービスとセーフティネットの充実</b>		
64	18	ア 高齢者が生き生きと暮らせる地域づくり		
64	24	① 高齢者の社会参加の促進		
64	30	② 住み慣れた地域で暮らせる環境づくり		
65	6	③ 介護サービスの充実		
65	13	イ 障害のある人が活動できる地域づくり		
65	17	① 地域生活の移行支援		
65	27	② 発達障害児（者）への支援		
65	32	③ 障害者の社会参加の促進		
66	9	④ 誰もが活動しやすい環境づくり		
66	18	ウ 日常生活を支える福祉サービスの向上		
66	23	① 福祉サービスの包括的な支援体制の強化		
66	30	② 困難な生活を支える支援体制の構築		
67	9	③ ひきこもり支援の推進		
67	16	④ 住宅セーフティネットの構築		
67	25	<b>(5) 多様性を尊重する共助・共創社会の実現</b>	●	第1回
68	27	ア ジェンダー平等の実現と性の多様性の尊重	●	第1回
68	6	① 家庭や職場、地域や社会全体における男女共同参画の推進	○	第1回
68	18	② 国際的な家庭問題への支援の推進	○	第1回
68	22	③ 性の多様性を尊重する共創社会の実現	○	第1回
68	27	イ 地域コミュニティの活動支援	●	第1回

頁	行	素案の本文	総合	部会での審議回
68	31	① 地域ボランティア・NPO等の活動支援	○	第1回
69	9	② 地域の活力を高める多様な連携と協働の取組の推進	○	第1回
69	17	<b>(6) 安全・安心・快適に暮らせる生活基盤の充実・強化</b>		
69	27	ア 計画的な生活基盤の整備		
69	31	① 住宅の計画的な建替え等の促進		
70	7	② 上水道の計画的な整備、水道広域化の推進と水の安定供給		
70	16	③ 地域特性に応じた下水道等の整備		
70	25	④ 生活に密着した陸上交通基盤の整備		
71	1	⑤ 地域特性や社会環境の変化に応じた都市公園の整備		
71	12	⑥ 安定的なエネルギー供給体制の確保		
71	25	イ デジタル化・オンライン化の促進		
71	29	① 情報通信技術を活用できる環境整備		
72	8	② 自治体デジタルトランスフォーメーションの推進		
72	15	<b>(7) 離島における安全・安心の確保と魅力ある生活環境の創出</b>		
73	5	ア 人流・物流・情報流に係るコスト低減		
73	13	① 交通コスト等の低減		
73	22	② 情報通信基盤の強化とICTの活用		
73	29	イ 安全・安心な生活を支えるインフラの整備		
73	33	① 水道施設の整備、水道広域化の推進、水道用水の安定確保		
74	8	② 汚水処理施設の整備		
74	16	③ 公営住宅の確保及び空き家等の活用		
74	24	④ 効率的な廃棄物処理施設の整備促進		
74	31	ウ 公平で良質な医療・福祉サービスの確保		
75	2	① 地域の実情に応じた医療提供体制の確保		
75	11	② 福祉・介護サービスを受ける機会の確保		
75	17	③ ICTを活用した遠隔医療の推進		
75	22	エ 離島を結び、支えるシームレスな交通体系の構築		
75	33	① 離島空港の機能強化及び離島航空路の確保・維持		
76	8	② 離島航路港湾の機能強化及び安全で安定した海上交通の確保・維持		
76	18	③ 地域特性に応じた島内移動手段の確保		
76	29	<b>(8) あらゆるリスクに対応する安全・安心な島づくり</b>	●	第2回
77	5	ア 危機管理体制の強化		
77	10	① 危機事象に応じた危機管理体制の構築		
77	27	② 地域防災力の向上		
78	5	イ 大規模災害等に備えた強くしなやかな県土づくりの推進		
78	10	① 社会基盤等の防災・減災対策		
78	29	② 社会基盤等の長寿命化対策		
79	6	③ 避難誘導體制の構築		
79	15	④ 緊急時における輸送機能及び避難地等の確保		
79	25	ウ 安全・安心に暮らせる地域づくり	●	第2回

頁	行	素案の本文	総合	部会での審議回
79	29	① 安全・安心な生活の確保と警察活動の強化	○	第2回
80	7	② 犯罪被害者等への支援の推進	○	第2回
80	15	③ 成人の適正飲酒及び未成年者飲酒防止対策の推進	○	第2回
80	22	④ DV防止対策等の拡充	○	第2回
80	32	⑤ 交通安全対策の強化	○	第2回
81	8	⑥ 水難事故対策の推進	○	第2回
81	13	⑦ 消費生活安全対策の強化	○	第2回
81	20	<b>(9) 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決</b>	●	第3回
82	1	ア 米軍基地から派生する諸問題の解決に向けた対応	●	第3回
82	4	① 米軍基地から派生する事件・事故の防止	○	第3回
82	13	② 米軍基地の運用に伴う航空機騒音等の問題への対応	○	第3回
82	24	③ 米軍活動に起因する環境汚染への対応	○	第3回
83	4	④ 国民的議論を喚起するための取組の推進	○	第3回
83	14	イ 残された戦後処理問題の解決	●	第3回
83	19	① 不発弾処理対策の加速化	○	第3回
83	27	② 所有者不明土地問題の抜本的解決	○	第3回
84	7	③ 戦没者遺骨収集の取組強化	○	第3回
84	14	④ 未買収道路用地問題への対応	○	第3回
84	22	<b>3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して</b>		
84	25	<b>(1) 県民所得の着実な向上につながる企業の「稼ぐ力」の強化</b>		
85	20	ア 全産業における労働生産性の向上		
85	29	① デジタルトランスフォーメーション等の推進による企業の生産性向上		
86	14	② 企業間の連携等による付加価値を高めるイノベーションの促進		
86	23	③ 人材投資による生産性の向上		
86	32	イ 中小企業等の経営基盤の強化による「稼ぐ力」の向上		
87	4	① 支援機関による経営改善の支援		
87	10	② 創業支援の充実		
87	18	③ 企業成長のための資金調達及び環境変化への適応の円滑化		
87	26	④ 事業承継・廃止に伴う経営資源の引き継ぎの円滑化		
87	33	ウ 地域・産業間連携による「稼ぐ力」の向上		
88	3	① 産業間連携強化等による域内経済循環の促進		
88	10	② 観光産業と多様な産業との連携		
88	17	③ 食品関連産業と農林水産業の連携		
88	23	④ 魅力あるまちづくり・地域商業活性化に向けた環境整備		
88	31	<b>(2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革</b>		
89	29	ア 「新しい生活様式/ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進		
90	17	① 「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備		
90	25	② 快適で魅力ある観光まちづくりの推進		
91	1	③ 多様な受入環境の整備		

頁	行	素案の本文	総合	部会での審議回
91	15	イ SDGsに適應する観光ブランド力の強化		
91	31	① サステナブル・ツーリズムの推進		
92	9	② 持続的観光指標の設定と観光管理の体制構築		
92	27	ウ 多彩かつ質の高い観光の推進		
93	8	① 国内外観光客のマーケティング		
93	14	② 沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進		
94	27	③ 多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開		
95	25	④ 質の高いクルーズ観光の推進		
96	2	⑤ 観光消費額向上に資する新たな拠点形成や観光プログラムの創出		
96	18	⑥ 空港・港湾と観光拠点エリアにおける観光二次交通の利便性向上		
96	28	エ デジタルトランスフォーメーションによる沖縄観光の変革		
97	1	① ICTによる新たな観光体験の創出促進		
97	5	② ICT・通信インフラを拡充した観光施設等の受入体制構築		
97	9	③ 世界のビジネスパーソン等が訪れるワーケーション拠点の形成		
97	15	④ リアルタイムな観光情報の提供		
97	19	⑤ 観光二次交通の利用促進		
97	28	オ マリントウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興		
98	7	① MICE振興とビジネスツーリズムの推進		
98	20	② マリントウンMICEエリアを核とした全県的なMICE受入体制の整備		
98	28	③ MICEを活用した関連産業の振興		
99	9	<b>(3) ResorTech Okinawaの推進による情報通信関連産業の高度化・高付加価値化</b>		
100	2	ア 産業のデジタルトランスフォーメーションを牽引する情報通信関連産業の高度化		
100	6	① 県内情報通信関連産業と他産業連携による新たなビジネスモデルの創出		
100	21	② 先端ICTを活用したビジネスイノベーションやスタートアップ企業の支援		
101	1	③ 県内外における市場開拓の強化		
101	15	イ 国際的な情報通信拠点の形成		
101	19	① 先端ICTを活用し新ビジネス・サービスを展開する企業の誘致・集積		
101	28	② 情報通信関連企業の立地を促す情報通信基盤の利用促進		
101	33	③ 情報通信産業集積拠点の整備		
102	10	<b>(4) アジアのダイナミズムを取り込む国際物流拠点の形成と臨空・臨港型産業の集積</b>		
103	6	ア シー・アンド・エアなど多様な国際物流ネットワーク強化と物流コスト低減		

頁	行	素案の本文	総合	部会での審議回
103	21	① 国際航空物流ハブとしての機能強化		
103	30	② 国際流通港湾機能の強化		
104	9	③ 物流コスト低減に向けた国際航路・空路拡充の取組及び物流対策の強化		
104	27	④ 空港・港湾へのアクセス強化に向けた陸上輸送の基盤整備		
105	6	イ 臨空・臨港型産業の集積促進		
105	13	① 高付加価値製品を製造する企業等の誘致		
105	26	② 航空関連産業クラスターの形成		
106	1	③ 離島空港における航空・宇宙関連産業の活用推進		
106	6	ウ 県内事業者の海外展開促進とビジネス交流拠点の形成		
106	20	① 海外展開に向けた総合的な支援		
106	29	② アジアをつなぐビジネス交流拠点の形成		
107	4	<b>(5) 科学技術イノベーションの創出と次世代を担う持続可能な産業の振興</b>		
108	2	ア 沖縄科学技術大学院大学等を核としたイノベーション・エコシステムの構築		
108	21	① 沖縄科学技術大学院大学等を核とした共同研究の推進		
108	30	② 研究成果等の知的財産化・技術移転の推進		
109	6	③ 大学発ベンチャー等の創出促進		
109	15	④ 社会課題解決型プロジェクトの創出支援		
109	24	⑤ 沖縄イノベーション特別地区等を核としたイノベーション創出拠点の形成		
110	2	イ バイオテクノロジーを活用した産業化の促進		
110	8	① 企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進		
110	20	② 先端医療分野における実用化の促進		
110	24	③ 健康・医療分野を軸とした産業拠点の形成		
110	32	<b>(6) 沖縄の優位性や潜在力を生かした新たな産業の創出</b>		
111	29	ア スタートアップの促進		
112	7	① 起業家の育成		
112	16	② 創業・成長の支援体制の構築		
112	22	③ スタートアップ等と大手企業・金融機関・研究機関・大学等との連携促進		
112	27	④ 金融関連産業の集積促進		
113	6	イ SDGsに資するビジネス展開の促進		
113	15	① 沖縄らしいSDGs推進に向けた事業展開の推進		
113	26	② ソーシャル・イノベーションの促進		
113	33	③ 資源循環・環境配慮型の事業の促進		
114	5	ウ 沖縄のソフトパワーを生かした新事業・新産業の創出		
114	17	① 文化芸術に関する産業の創出・振興		
114	23	② 空手を活用した産業の創出・振興		
114	29	③ eスポーツを活用した新たな展開		

頁	行	素案の本文	総合	部会での審議回
115	2	④ 健康サービス産業の振興		
115	12	<b>(7) 亜熱帯・海洋性気候を生かした持続可能な農林水産業の振興</b>		
115	25	ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化		
115	31	① 野菜・果樹・花き類等の生産振興		
116	6	② 肉用牛・養豚の生産振興		
116	18	③ さとうきび等の安定品目の生産振興		
116	26	④ 林産物の生産振興		
116	33	⑤ 沖縄型のつくり育てる漁業の振興		
117	7	⑥ 資源管理型沿岸漁業の振興		
117	15	イ 県産農林水産物の安全と消費者信頼の確保		
117	21	① 生産段階の品質管理の強化と表示の適正化の推進		
117	29	② 県産農林水産物の高度な衛生管理の推進		
118	2	③ 特殊病害虫等の侵入防止		
118	11	④ 特定家畜伝染病対策の強化と徹底		
118	20	⑤ 環境に配慮した病害虫防除対策と鳥獣被害防止対策の推進		
118	29	ウ 多様なニーズに対応するフードバリューチェーンの強化		
119	2	① 農林水産物の輸送コストの低減対策及び総合的な流通の合理化		
119	12	② 多様なニーズに対応する戦略的な販路拡大と加工・販売機能の強化		
119	23	③ 食品産業など他産業との連携による農林水産物の付加価値向上		
119	32	④ 地産地消等による県産農林水産物の消費拡大		
120	8	⑤ 製糖企業の経営基盤強化と高度化推進		
120	17	エ 担い手の経営力強化		
120	22	① 農林水産業の経営安定対策の充実		
120	31	② 担い手への農地の集積・集約化の促進		
121	7	③ 農林漁業団体の組織強化を通じた力強い経営体づくり		
121	14	オ 農林水産業のイノベーション創出及び技術開発の推進		
121	19	① デジタル技術等を活用したスマート農林水産技術の実証と普及		
121	29	② 多様なニーズや気候変動等に対応した品種の開発と普及		
122	4	③ 地域特性を最大限に生かした農林水産技術の開発と普及		
122	14	カ 成長産業化の土台となる農林水産業の基盤整備		
122	19	① 生産性と収益性を高める農業生産基盤の整備		
122	29	② 自然環境に配慮した森林及び林業生産基盤の整備		
123	2	③ 水産物の生産性を高める生産基盤の高度化		
123	13	④ 農山漁村地域の強靱化対策の推進		
123	22	キ 魅力と活力ある農山漁村地域の振興		
123	27	① 環境に配慮した持続可能な農林水産業の推進		
124	2	② 地域資源の活用・域内循環の創出による地域の活性化		
124	11	③ 地域が有する多面的機能の維持・発揮		
124	19	<b>(8) 地域を支える第二次産業と県産品の振興</b>		
124	28	ア 多様なものづくり産業の振興		

頁	行	素案の本文	総合	部会での審議回
125	1	① 域内自給率を高めるものづくり産業の高度化		
125	13	② ものづくり産業振興のための環境整備		
125	25	③ ものづくり基盤技術の高度化とサポートینگ産業の振興		
126	2	イ 県産品の売上げ拡大促進		
126	6	① 国内市場における需要開拓の促進		
126	16	② 海外市場における販路開拓		
126	28	③ 県産品の高付加価値化の促進		
127	4	④ 県産品の消費促進		
127	14	ウ 建設産業の持続可能な発展		
127	18	① 建設産業の高度化支援		
127	30	② 地域特性に適した技術の研究・開発の促進及び海外建設市場等への進出		
128	10	<b>(9) 希望と活力にあふれる「スポーツアイランド沖縄」の形成</b>		
128	25	ア スポーツ関連産業の振興と地域の活性化		
129	4	① スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成		
129	17	② スポーツを核とした新たな産業の創出とアジア展開		
129	28	③ スポーツ資源を活用したまちづくり		
130	5	イ 県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備		
130	11	① スポーツ施設及び関連基盤の整備・充実		
130	21	② 県民の競技力向上・スポーツ活動の推進		
130	29	③ 県民一人ひとりが参加する生涯スポーツの推進		
131	7	<b>(10) 島々の資源・魅力を生かし、潜在力を引き出す産業振興</b>		
131	16	ア 離島ごとの環境・特性を生かした農林水産業の振興		
131	21	① 離島におけるさとうきび産業の振興		
131	31	② 離島における畜産業の振興		
132	8	③ 離島農林水産物の生産振興とブランド化の推進		
132	18	④ 離島における水産業の振興		
132	26	⑤ 亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備		
133	2	イ 地域資源を活用した特産品の振興		
133	9	① 個性的で魅力のある特産品開発支援		
133	16	② 特産品の販路拡大・プロモーション支援		
133	22	ウ 持続可能で高品位な離島観光の振興		
134	5	① 着地型観光プログラム等の定着		
134	12	② 環境に配慮した持続可能な観光の推進		
134	28	<b>(11) 誰もが安心して働ける環境づくりと多様な人材の活躍促進</b>		
135	7	ア 雇用機会の確保と多様な人材の活躍促進		
135	12	① 総合的な就業支援		
135	22	② 高齢者が活躍できる環境づくり		
135	30	③ 障害者の雇用の場の創出と働きやすい環境づくり		
136	4	④ 外国人材の受入環境の整備		
136	14	⑤ 駐留軍等労働者の雇用対策の推進		

頁	行	素案の本文	総合	部会での審議回
136	22	イ 多様な働き方の促進と働きやすい環境づくり		
136	30	① 柔軟な働き方の推進のための環境整備		
137	5	② 働きやすい環境づくり		
137	14	③ 非正規雇用労働者の待遇改善		
137	4	④ 正規雇用の促進		
137	29	ウ 若年者の活躍促進		
138	1	① 若年者の就業・定着の促進		
138	10	② 若年者の就業意識啓発等の推進		
138	23	③ 若年者の県内就職の促進		
138	31	エ 女性が活躍できる環境づくり		
139	2	① 女性が働きやすい環境づくり		
139	16	② 男女の機会均等と待遇改善		
139	22	③ 女性が働き続けられるための意識啓発等の促進		
139	31	(12) 自立型経済の構築に向けた社会基盤の高度化とネットワークの形成		
140	14	ア 次世代の通信環境に対応した情報通信基盤の整備		
140	33	① 未来創造の情報通信基盤の構築		
141	4	イ 世界水準の拠点空港等の整備		
141	31	① 那覇空港の更なる機能強化		
142	9	② 国際路線の拡充に向けた取組強化		
142	26	③ 空港における高度な危機管理体制の構築		
143	2	ウ 経済成長を加速させる拠点港湾機能やネットワーク機能の強化拡充		
143	16	① 那覇港の物流・人流機能の強化		
144	7	② 中城湾港の物流・人流機能の強化		
144	21	③ 圏域の拠点港湾等の機能強化		
144	33	④ 港湾間の戦略的な機能分担・連携強化		
145	10	⑤ 災害に強い海上交通ネットワーク機能の強化と危機管理体制の構築		
145	24	エ シームレスな陸上交通体系の整備		
146	23	① シームレスな乗り継ぎ環境の構築		
147	10	② 体系的な道路ネットワークの構築		
147	25	③ 沖縄都市モノレールの機能強化		
148	6	④ 鉄軌道を含む新たな公共交通システムの導入		
148	19	⑤ 過度な自家用車保有・利用からの転換		
149	9	<b>4 世界に開かれた交流と共生の島を目指して</b>	●	第2回
149	12	(1) <b>アジア・太平洋地域の平和構築に貢献する地域協力外交の展開</b>	●	第2回
149	23	ア アジア・太平洋地域の平和拠点の形成	●	第2回
149	28	① 国内外に向けた平和を希求する「沖縄のこころ」の発信	○	第2回
150	6	② アジア・太平洋地域における平和ネットワークの形成	○	第2回
150	18	イ 沖縄戦の実相・教訓の次世代継承	●	第2回

頁	行	素案の本文	総合	部会での審議回
150	23	① 平和学習の推進及び次世代への継承	○	第2回
150	33	② 平和に関する社会貢献活動の推進	○	第2回
151	4	③ 戦争遺跡の保存及び活用	○	第2回
151	15	<b>(2) 沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成</b>		
151	27	ア 交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展		
152	1	① 国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流		
152	14	② 交流の架け橋となる人づくり		
152	22	イ 多文化共生社会の構築		
152	27	① 在住外国人等が住みやすい地域づくり		
153	1	② 県民の異文化理解・国際理解の促進		
153	7	ウ 多角的な交流の推進		
153	11	① 観光交流、経済交流等の推進		
153	23	② 沖縄の文化を通じた交流		
154	3	<b>(3) 世界の島しょ地域等との国際協力活動と国際的課題への貢献</b>	●	第2回
154	14	ア 多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	●	第2回
154	19	① 環境・エネルギー分野における国際協力の推進	○	第2回
154	27	② 水道分野における国際協力の推進	○	第2回
154	32	③ 農林水産分野における国際協力の推進	○	第2回
155	7	④ 保健衛生分野における国際協力の推進	○	第2回
155	13	⑤ 建設技術による国際協力の推進	○	第2回
155	21	イ 国際的な災害協力の推進		
155	25	① 国際的な災害支援体制の構築		
156	4	<b>(4) 離島を核とする交流の活性化と関係人口の創出</b>		
156	14	ア 離島と本島・県外との交流の促進		
156	18	① 離島の多様な魅力の発信		
156	26	② 離島訪問の促進		
157	4	イ 離島を核とする関係人口の創出と移住促進		
157	9	① 離島におけるテレワーク、ワーケーション等の推進		
157	19	② UJIターンによる移住促進		
157	25	<b>5 多様な能力を発揮し、未来を拓く島を目指して</b>		
157	28	<b>(1) 多様な学びの享受に向けた環境づくり</b>		
158	5	ア 地域を知り、学びを深める環境づくり		
158	9	① 多様な学習機会の創出及び提供		
158	19	② 地域の歴史、文化、芸術に触れる機会の充実		
158	28	イ 子どもたちの健やかな育成に向けた地域全体の連携		
158	33	① つながりが創る豊かな家庭教育機能の充実		
159	10	② 学校・家庭・地域社会の相互の連携及び協力		
159	23	ウ 公平な教育機会の確保と学習環境の充実		
159	30	① 離島・へき地における教育環境の充実		
160	6	② ICT等を取り入れた教育環境の整備及び充実		
160	12	エ 学びと生きがいを支える多様な生涯学習環境の実現		

頁	行	素案の本文	総合	部会での審議回
160	17	① 生涯学習推進体制の充実		
160	29	② 生きがいをもたらす文化・芸術活動の振興		
161	4	<b>(2) 「生きる力」を育む学校教育の充実</b>		
161	14	ア 確かな学力を身に付ける学校教育の充実		
161	21	① 小学校における学力向上の推進		
161	31	② 中学校における学力向上の推進		
162	9	③ 高等学校における学力向上の推進		
162	17	④ 主体的・対話的で深い学びを実践できる教員の指導力向上		
162	22	イ 豊かな心と健やかな体を育む学校教育の推進		
162	27	① 豊かな心を育む教育の充実		
163	2	② 不登校児童生徒への支援体制の強化		
163	11	③ 社会総がかりによるいじめ問題への取組		
163	20	④ 学校における体力向上に向けた取組		
163	28	⑤ 健康教育・安全教育の推進		
164	4	ウ 個性を伸ばし、自立に向けた資質・能力を伸ばす教育の推進		
164	10	① 幼児教育の充実		
164	20	② 個性を大切に、個々の能力を伸ばす教育の推進		
164	28	③ 学校教育におけるキャリア教育の推進		
165	6	エ 時代の変化に対応する魅力ある学校づくりの推進		
165	11	① 時代の変化に対応した学校づくりの推進		
165	20	② 一人ひとりのニーズに応える特別支援教育の充実		
165	31	③ 安心して学べる教育環境の整備		
166	9	④ 特色ある私立学校づくりへの支援		
166	19	<b>(3) 多様な能力を育て、力強く未来を拓く人づくり</b>		
166	29	ア 国際感覚を身に付ける教育の推進		
167	1	① 外国語教育の充実		
167	8	② 多様な国際交流及び国際理解教育の推進		
167	19	イ 多様な能力を引き出し伸ばす教育の推進		
167	23	① ICT教育の充実		
168	7	② 科学・理数教育の充実		
168	19	ウ 地域の発展に寄与する魅力ある高等教育環境の充実		
168	23	① 高等教育の魅力向上と地域貢献機能の充実		
168	32	② 官民連携による地域連携プラットフォーム（仮称）の構築と展開		
169	7	③ 産業と高等教育機関等の連携による実践的なキャリア教育の推進		
169	16	<b>(4) 人口減少に対応し、地域社会を支える人づくりと人材の確保</b>		
169	25	ア 多様な職業能力の育成・開発		
170	4	① 企業ニーズ等に対応した職業能力の育成・開発		
170	14	② 技術革新の動向等に対応した柔軟な職業能力の育成・開発		
170	24	③ 社会参画とキャリアアップに資する学び直しの機会の創出		

頁	行	素案の本文	総合	部会での審議回
171	1	イ 持続可能な地域づくりを担う人材の育成・確保		
171	6	① 地域づくりをリードする人材の育成・確保		
171	13	② 持続的な環境保全活動を担うボランティアの育成		
171	20	③ 保育士の育成・確保		
171	27	④ 福祉・介護人材の育成・確保		
172	1	ウ 医療・保健など地域の安心を支える人づくり		
172	6	① 医師の確保と資質向上		
172	17	② 薬剤師の確保と資質向上		
172	23	③ 看護師等の確保と資質向上		
173	4	<b>(5) 新たな価値を創造し、産業を牽引する人づくり</b>		
173	15	ア 産業のイノベーション創出を担う高度人材の育成と活用		
173	25	① 即戦力となる情報系人材の育成及び国内外からの確保		
174	2	② 県内企業におけるITリテラシーを有する人材の育成		
174	9	③ 高度研究人材・専門人材の活用・確保に向けた環境整備の推進		
174	21	イ 地域産業を担う人づくり		
174	25	① 多彩で質の高いサービスを提供できる観光人材の育成・確保		
175	1	② 農林水産業を支える多様な担い手の育成・確保		
175	14	③ ものづくり産業を担う人材の育成・確保		
175	24	④ 建設産業を担う人材の育成・確保		
176	1	<b>第5章 克服すべき沖縄の固有課題</b>		
176	14	<b>1 克服すべき沖縄の固有課題</b>	●	第3回
176	15	<b>(1) 基地問題の解決</b>	●	第3回
177	1	ア 解決の意義	○	第3回
177	17	イ 解決の方向性	○	第3回
178	8	<b>(2) 駐留軍用地跡地の有効利用による県土構造の再編</b>	●	第3回
178	9	ア 解決の意義	○	第3回
179	6	イ 解決の方向性	○	第3回
180	4	ウ 駐留軍用地跡地の有効利用	○	第3回
180	21	(嘉手納飛行場より南の大規模駐留軍用地跡地の有効利用)	○	第3回
182	4	(既に返還された駐留軍用地跡地の有効利用)	○	第3回
182	22	<b>(3) 離島の条件不利性克服と持続可能な島しょ地域の形成</b>		
182	23	ア 解決の意義		
183	12	イ 解決の方向性		
184	1	<b>(4) 美ら島交通ネットワークの構築</b>		
184	2	ア 解決の意義		
184	31	イ 解決の方向性		
185	17	<b>2 固有課題克服のための行財政システムの強化・拡充及び政策金融の活用</b>	●	第4回
185	24	<b>(1) 沖縄振興特別措置法の活用</b>	○	第4回
186	1	<b>(2) 跡地利用推進法の活用による円滑な跡地利用の推進</b>	○	第3回
186	15	<b>(3) 地域に根ざした政策金融の活用</b>	○	第4回

頁	行	素案の本文	総合	部会での審議回
187	2	(4) 安定的な自主財源等の確保	○	第4回
188	1	<b>第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開</b>		
188	20	<b>1 県土全体の基本方向</b>	●	第2回
188	12	(1) 県土の均衡ある発展と持続可能な県土づくり	○	第2回
189	26	(2) 我が国の南の玄関口における臨空・臨港都市と新たな拠点の形成	○	第2回
190	32	(3) 広大な海域の保全・活用	○	第2回
192	1	<b>2 県土の広域的な方向性</b>	●	第3回
192	2	(1) 県全体の持続可能な発展を牽引する中南部都市圏の形成	○	第3回
193	1	(2) 県土の均衡ある発展を支える「東海岸サンライズベルト構想」の展開	○	第3回
194	5	(3) 世界とつながる北部圏域、宮古・八重山圏域の持続可能な発展		
194	30	(4) 小・中規模離島や過疎地域等における持続可能な地域づくり		
196	1	(5) シームレスな交通体系の整備と鉄軌道を含む新たな公共交通システムの導入		
197	14	(6) 駐留軍用地跡地利用による県土構造の再編と持続可能な県土づくり	○	第3回
198	18	<b>3 圏域別展開</b>	●	第2回
198	19	<b>(1) 北部圏域</b>	●	第2回
199	24	ア やんばるの自然を守る環境共生型社会の構築		
200	5	イ 生活基盤の充実		
200	6	① 医療・福祉の充実		
200	20	② 教育機会の充実及び情報通信基盤の整備		
200	30	③ 生活環境基盤の整備		
201	12	ウ 観光振興及び歴史文化の継承・発展		
201	13	① 自然環境等を生かした観光振興		
202	12	② 文化の継承・発展		
202	25	エ イノベーションの推進及び農林水産業等の振興		
202	26	① 産業イノベーションの推進及び地場産業の振興		
203	12	② 情報通信関連産業等の振興		
203	32	③ 農林水産業の振興		
205	1	オ 持続可能なまちづくりの推進		
205	2	① まちづくりの推進		
205	25	② 交通及び物流基盤の整備		
206	11	カ 周辺離島における定住条件の整備及び地域活性化		
207	2	<b>(2) 中部圏域</b>	●	第2回
208	8	ア 自然環境の保全及びクリーンエネルギーの推進		
208	21	イ 歴史文化の継承・発展及び観光振興		
208	22	① 歴史文化の継承・発展		
209	5	② 異文化融合した圏域の特色を生かした観光振興		
209	24	③ スポーツコンベンション地域の形成		
210	2	ウ 県全体を牽引する産業振興		

頁	行	素案の本文	総合	部会での審議回
210	3	① 国際競争力のある情報通信関連産業の振興		
210	24	② 臨港型産業の振興と産業イノベーションの推進		
211	17	③ 農林水産業の振興		
212	16	工 持続可能な基幹都市圏の形成		
212	17	① 持続可能なまちづくりの推進		
213	4	② 交通渋滞の緩和に向けた交通ネットワークの構築		
213	16	オ 生活基盤の充実及び島しょ地域の振興		
213	17	① 生活基盤の整備		
214	5	② 周辺離島における定住条件の整備及び地域活性化		
214	15	<b>(3) 南部圏域</b>	●	第2回
215	32	ア 自然環境の保全及びクリーンエネルギーの推進		
216	16	イ 歴史文化の継承・発展及び観光振興		
216	17	① 歴史文化の継承・発展		
217	13	② 国際交流都市機能や圏域の魅力を生かした観光振興		
218	6	ウ 県全体を牽引する産業振興		
218	7	① 臨空・臨港型産業の振興と産業イノベーションの推進		
218	20	② 国際競争力のある情報通信関連産業の振興		
219	1	③ 農林水産業の振興		
220	4	工 持続可能な基幹都市圏の形成		
220	5	① 人流・物流拠点の機能強化		
220	22	② 交通渋滞の緩和に向けた交通ネットワークの構築		
221	5	③ 持続可能なまちづくりの推進		
221	17	オ 生活基盤の充実		
222	4	カ 離島における定住条件の整備及び地域活性化		
223	6	<b>(4) 宮古圏域</b>	●	第2回
224	18	ア 美ら海を守るエコアイランドの実現		
224	33	イ 自然環境等を生かした観光及び文化・交流		
224	34	① 自然環境等を生かした観光振興		
225	28	② 伝統文化の継承及び国内外の交流促進		
226	6	ウ 生活環境の整備・充実		
226	7	① 人流・物流・情報流に係るコスト低減		
226	18	② 医療・福祉サービスの充実		
226	34	③ 公平な教育環境の確保		
227	13	④ 生活環境基盤の整備		
227	30	エ 農林水産業及び地場産業の振興		
227	31	① 農林水産業の振興		
228	27	② 地場産業の振興及び産業イノベーションの推進		
229	7	オ 持続可能なまちづくりの推進		
229	8	① まちづくりの推進		
229	21	② 離島を結び、支える交通体系の整備		
230	2	<b>(5) 八重山圏域</b>	●	第2回

頁	行	素案の本文	総合	部会での審議回
231	20	ア 八重の自然を守る環境共生型社会の構築		
232	3	イ 自然環境等を生かした観光及び文化・交流		
232	4	① 自然環境等を生かした観光振興		
233	2	② 伝統文化の継承及び国内外の交流促進		
233	17	ウ 生活環境整備・充実		
233	18	① 人流・物流・情報流に係るコスト低減		
233	29	② 公平な教育環境の確保		
234	8	③ 医療・福祉サービスの充実		
234	25	④ 生活環境基盤の整備		
235	7	エ 農林水産業及び地場産業の振興		
235	8	① 農林水産業の振興		
236	6	② 地場産業の振興及び産業イノベーションの推進		
236	22	オ まちづくりの推進		
236	23	① 持続可能なまちづくりの推進		
237	5	② 島々を結び、支える交通体系の整備		
238	1	<b>第7章 計画の効果的な推進</b>		
238	3	<b>1 沖縄振興特別措置法と本計画の関係</b>	●	第4回
238	14	<b>2 計画の効果的な推進</b>	●	第4回
238	15	(1) 実施計画等の策定	○	第4回
238	23	(2) 計画の進捗管理と見直し	○	第4回